

# 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

集中治療室入室患者に対する抗菌薬適正使用支援活動の横断調査

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年4月～2023年3月までに昭和大学横浜市北部病院の集中治療室に入院された患者さん

## 2. 研究目的・方法

(antimicrobial stewardship : AS)とは抗菌薬を使用する際、個々の患者に対して最大限の治療効果を導くと同時に、有害事象をできるだけ最小限にとどめ、いち早く感染症治療が完了できる(最適化する)ようにする目的で、感染症専門の医師や薬剤師、臨床検査技師、看護師が主治医の支援を行うことである。抗菌薬使用の適正化を支援することにより、薬剤耐性(抗菌薬が効かない菌)の勢いをおしとどめること、患者さんに利益をもたらすことを目的としています。集中治療室(ICU)は重症感染症患者が多く、薬剤耐性菌の問題や様々な抗菌薬が使用されるためASを推進するべきですが、優れた知識や教育を受けた人材の不足により進んでいません。そこで本研究では、抗菌薬処方前後の介入とフィードバックによる抗菌薬使用状況や死亡率を評価し、ASの活動状況を明らかにします。

本研究では、入院中の患者さんのデータを取得します。患者さんのデータは、病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態)、培養検体(検出菌種、検出件数、全検体における菌種別検出割合)

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

**6．研究組織**

研究代表者 昭和大学横浜市北部病院 詫間章俊

**7．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：詫間 章俊

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7806